

横浜市立小田学校 令和2年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
元気 友達 笑顔 いっぱい かがやく 小田小学校	創造的に思考する力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
保護者・地域とのつながりの中で「夢中になって学ぶ楽しさ」を味わえる小学校を築く教職員集団「チーム小田」を目指します。 ・私たち「チーム小田」は、子ども一人一人を徹底的に大切にし、安心・安全で信頼される学級づくりを目指します。 ・私たち「チーム小田」は、研究・研修に努め、子どもたちが学び合う楽しさを味わえる授業改善を図ります。 ・私たち「チーム小田」は、子どもたちの自尊感情をはぐくむために、心の育ちを支援する学級づくりに努めます。 ・私たち「チーム小田」は、地域とのかかわりを大切にし、学校内外との協議を進めます。 ・私たち「チーム小田」は、自ら「学ぶ楽しさ」を子どもとともに実践し、学び続ける教職員集団であり続けます。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	① 体力向上一校一実践として行う長縄集会に向けて、学級で意図的・計画的に取り組む。また、「体力づくりの日（長縄）」も設定し、意図的に取り組めるようにすることで体力の向上に励む。 ② 自らの健康を考え、望ましい食習慣について学べるように、全学年でバランスイートネットワークに取り組む。
担当	体育部

2 体育・健康に関する実態把握

- ・新体力テストの結果より、筋力（握力）、瞬発力は平均値を下回っている。柔軟性や投擲力は平均値を上回っている。
- ・休み時間は、外遊びをする児童が限られている。ただ、体育学習や行事等に合わせた外遊びの励行をすると、多くの児童が外遊びを行う。
- ・給食の残食量は、市平均と比べると少ない。
- ・保健室の利用状況は、けがによる来室が多い。体育学習の中では、打ち身やつきゆびなどが多い。
- ・地域には思い切り体を動かせる空間が少なく、放課後に積極的に運動しようとしていない。また、週末に運動する児童は多いが、平日に運動する児童は平均を下回っている。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科の取組》

健康な生活を実践する態度、自己の健康のために主体的に課題解決する力を育む

- ・児童が運動の楽しさや喜びを実感し、運動の日常化につなげられるよう体育学習の充実を図る。

《他教科での取組》

心身の健康な生活を実践する態度を育む

- ・家庭科では、栄養とバランスのよい食事、環境を整えるなど食育や健康との関連を図る。

特別活動・総合的な学習の時間

規則正しい生活をしようとする態度、進んで運動しようとする態度を育む

- ・特別活動では、学級担任と栄養士との連携を図り、食教育の授業を実施することで食教育を充実させる。また、「早寝」、「早起き」、「朝食」の奨励を行う。
- ・保健委員会、給食委員会では、児童の健康面での課題に合わせて、発表集会やポスターなどの方法による活動を推進する。

課外活動

- ・横浜市スポーツ振興事業団及び地域のボランティアによる、中休み体力づくり事業
- ・児童保健委員会を中心とした、小田中学校とも連携した、学校保健委員会の取組
- ・水泳大会練習（7月）

令和元年度 小田小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 長縄集会

《ねらい》 体力や縄跳び運動の技能向上 認め合い、思いやり、協力し合う態度の育成

《内容》 運動委員会が企画・運営、年2回行う
低学年学級には、運動委員による練習補助や助言をする
学級ごとの8の字跳び（5分間）

- 指 標：
- ①学級目標との比較（毎週計測）
 - ②学年目標の達成
 - ③前期の記録からの伸び
 - ④生活実態調査「1日の運動・スポーツの実施時間」